### POINTER FOR VEHICLE DISPLAY DEVICE

Patent number:

JP3048726

Publication date:

1991-03-01

Inventor:

INUKAI KAZUO

Applicant:

NIPPON DENSO CO

Classification:
- international:

G01D11/28; G01D13/28; G12B11/04

- european:

Application number: Priority number(s):

JP19890184099 19890717

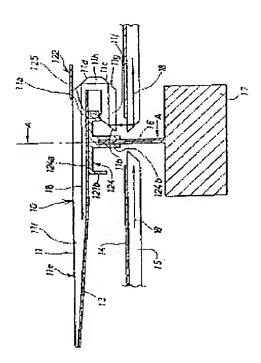
JP19890184099 19890717

Report a data error here

#### Abstract of JP3048726

PURPOSE:To obtain the pointer which can easily be assembled and free from an irregularity in illuminance to its overall length and excellent in visibility by entering light into the photo-receiving part of a pointer main body through a light guide plate and guiding the light from the photo-receiving part to the other end through the pointer main body.

through the pointer main body. CONSTITUTION: The pointer 10 consists of the pointer main body 11, a cap where the pointer main body 11 is fitted, the light guide plate 15 which has a dial 14, and a driving motor 17 which rotates the cap. The pointer main body 11 is made of transparent acryl, etc., having photoconductivity and consists of an extention part 11f and the photo-receiving part 11g molded integrally of the same material at its rear end. The light 18 is from a light source enters the photo-receiving part 11g of the pointer main body 11 through the light guide plate 15 and reaches to the other end from the photo-receiving part 11g further through the pointer main body 11. The photoreceiving part 11g is cov ered with a shield part 122, so the light passing through the photo-receiving part 11g can not be seen in a sight direction. Further, light provides uniform illumination when traveling from the photoreceiving part 11g of the pointer main body 11 to the other end of the pointer main body 11.



Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

HIS PAGE BLANK (USPTO)

# ◎ 公開特許公報(A) 平3-48726

Int. Cl. 5

識別配号

庁内整理番号

码公開 平成3年(1991)3月1日

G 01 D 13/28 11/28 G 12 B 11/04 6947-2F P 6947-2F R 6947-2F

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全4頁)

の発明の名称

車両表示装置用指針

②特 頭 平1-184099

加発明者 犬 飼

和雄

愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地 日本電装株式会社内

⑪出 願 人 日本電装株式会社

愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地

19代理人 弁理士足立 勉

朗 細 虫

1. 発明の名称

車両表示装置用指針

# 2. 特許請求の範囲

3. 発明の詳細な説明

[産業上の利用分野]

この発明は自動車等に使用される発光式の車両 表示装置用指針に関するものである。

[ 従来技術]

車両表示装置に使用されている発光式の指針は

車両の走行中に一瞥して必要な情報が得られるように優れた視認性を要求されている。この視認性を高めるため指針の長さをできるだけ長くすることが要求されている。この対策として照明を必要としない昼間では指針のボス部(指針を保持する 通常黒色のカバー)に印刷、ホットスタンピング等を施すことが行なわれているが、照明を必要とする夜間ではポス部まで発光させることは困難である。

又本願の先行技術資料である実公昭62-64 86号公報では、第3b図において光導板32から指針受光部33dに入った光が反射面34で反射を繰り返して指針後端部33cに到達するが、この後端部33cを提う部材がないので第3a図で後端部33cを上方(視線方向)から見ると強い光(光源)が見えてしまい、部局点数を強さないと均一でむらのない照明が得られない欠点がある。

又別の先行技術資料の実開昭61-11802 1号公報では指針本体30の上面にホットスタン ピングを施工して照明むらを和らげる必要がある。 又キャップ部分40、41が2分割されているの で都品点数が多くなり、コストが高くなる。

更に従来の指針はその租み付けを熱かしめにより行っているので作業に時間がかかり、このこともコスト苺の原因となっていた。

[発明が解決しようとする課題]

この発明は部品点数が少なく、組み付けが簡単 で指針全長に亘り照明むらがなく、視認性のよい 車両表示装置用指針の提供を課題とする。

[課題を解決するための技術的手段]

上記の課題を解決するためこの発明は回転可能のキャップと、導光性を有し、一端部が受光部となっている指針本体と、キャップの下方に配置され、文字盤を有する導光板とを含み、光源からの光が導光板、受光部を経て指針本体を一端から他端に向って通過するようにした車両表示装置用指針において、前記指針本体は係止機構を介して受光部を通る光が視線方向から見えないようにする違

キャップ12は思色不透明の材料で形成され、第2~4図に示すように上端が上面板121aにより閉鎖され、下端解放された円筒部121と円筒部121の周壁121bに接続する断面チャンネル型の遮蔽部122とから構成されている。円筒部121の上面板122aとは同一面になっている。

蔽都を設けた構成を有している。

[作用]

光源からの光は導光板を通って指針本体の受光 部に入り、受光部から更に指針本体を通過してその の他端に到達する。受光部は遊藪部により覆われ ているので受光部を通る光は視線方向から見えない。又光は指針本体の受光部から指針本体の他端 に向う際むらのない照明を提供する。更に指針本 体のキャップへの組み付け、固定は係止機構によ り容易に行われる。

[実施例]

以下この発明を一実施例を第1~4図により説明する。車両表示装置用指針10は指針本体11と、指針本体11を取り付けるキャップ12と、文字盤14を有する導光板15と、キャップ12を回動させる駆動用モータ17とから構成されている。指針本体11は透明で導光性を有する材質例えば透明アクリル等で作られ、延出部111gとからな、延出部111gとからな

円筒部121の内部にはT型のポス部124が 形成され、このボス部124の水平片124aは チャンネル型の断面を有し、この断面内部が指針 本体11の延出部11月の挿通孔124cとなっ ている。即ち、遮蔽部122の内部に指針本体1 1の延出部111が挿入され、延出部111は円 箇部121の周壁121日に設けた一方の挿通孔 1210を貫通してポス部124の揮通孔124 Cに入り、更に円筒部121の周壁121bの他 方の挿通孔1210を通過して円筒部121から 前方(第1図で左方)に突出する。挿通孔124 cの上端では円筒部121の上面板121a及び 遮蔽部122の上面板1228がスリット状に切 り欠かれて指針本体11の延出部111の脱落を 防止するための脱落防止用突起部123が形成さ れている。姫通孔124cに指針本体11の近出 部111を挿通した時、指針本体11の受光部1 10に対向する円筒部121の周壁121bの肉 厚は厚くなっていて、その下面には指針本体11 に設けた前記係合突起11aと係合する固定溝1

## 特開平3-48726 (3)

25が設けられている。ボス部124の軸部12・4 bには駆動用モータ17の軸16が挿入固定されている。駆動用モータ17とキャップ12との間には文字盤14を上面に有する導光板15が配置されている。

eの全面に透過性を有するホットスタンピングを 施しても指針本体11にむらのない照明が得られ ることは言うまでもない。

前記実施例において指針本体11の延出部11 『の下面にはホットスタンピング13によって白 色、橙色を施したが2色成形法によって白色、橙 色を施してもよい。

この発明は上記の構成を有するので次のような 優れた効果を有する。

(イ)指針本体とキャップとの固定は両者に設けた係合機構により行うので相立作業がワンタッチで可能となり、従来の熱かしめなどの面倒な作業は不要になる。

(ロ) キャップに遮蔽部を設けたので照明むらの 原因となる強い光 (光源) が視線方向から見えない。

(ハ)従来の製品と比較して部品点数が少なくコストダウンになる。

4. 図面の簡単な説明

第1図は一実施例の正断面図を示す。第2図は

ヤップ12とは駆動用モータ17により回転輸1 6を介して回動される。図示しない光源から導光 板15に直接光が照射され、照射された光は導光 仮15を経て指針本体11の受光部110の水平 片11jの前端 (第1図で左端) に入る。この場 合指針本体11がどの位置に回転又は静止してい でも常に一定量の光を受ける。水平片11jの前 婚で受けた光は反射面11bで反射されて水平片 11」を通り、反射面11cで反射されて直立片 11かを上昇し、更に反射面11はで反射されて 延出部111を通ってその前端(第1図で左端) に到達する。近出部11fをその後端(第1図で 右端)から前端に進む光は延出部11千の下面に 貼替したホットスタンピング13により反射され、 延出部11个で濃淡のむらのない照明が得られる。 前述のようにキャップ12の遮蔽部122は指針 本体12の受光部12gの直立片12hの直上に 位置しているので直立片12hを進む光は上方か ら、すなわち視線方向Qからはまったく見えない。

上記の指針本体11の延出部111の上面11

第1回のA-A線断面図を示す。第3図は指針本体とキャップとの組み付け前の位置関係の斜視図を示す。第4図は指針本体とキャップとの組み付け後の位置関係の斜視図を示す。

10…車両表示装置用指針

11…指針本体

11a…係合突起

125…固定溝

111…延出部

110…受光部

12…キャップ

122… 遊蔽部

14…文字器

15…導光板

18…光

代理人 弁理士 足立 勉

THIS PAGE BLANK (USPTO)